

作成日	令和7年9月24日
議員名	肥後 孝俊

事業No.	345・167		
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 新しい仕掛けを継続的に行なっている点は評価する。地域住民と都市部の交流促進につながる施設になってほしい。 (予算規模について) 維持管理費を維持。目標達成後に設備更新等の予算拡充とする。
--

■改善・提案内容

ふるさと体験村が、より多方面からの人材が関わるプラットフォームとなるイベントを開催する。自立分散型社会を弥栄から目指す！と銘打ったイベント等。
--

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 月 日

議員名 村木 勝也

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）

本事業は、施設の維持管理を目的とした指定管理委託であるが、「ふるさと体験村」という弥栄地域の目玉となる施設運営となるものであり、その活用は委員会として以前より注目していた。行政への現状確認では当初計画に比して「宿泊客」の入込みが下回っており、これは大きな課題とされている。施設運営関係者へのヒアリングでは、「ふるさと体験村は目的でなく手段である」とのことで、弥栄地域に飲食・宿泊施設があることで滞在や交流がしやすくなること、また、新規就労や滞在する人たちにとっても心の居場所であり、集いの場所であるとのことであった。地域全体のことを考えると、「ふるさと体験村」はハブ的存在としての考えがあり、ハブとしての位置を生かした事業を進めるべきとも考える。

「おてつたび」や「いわみ留学制度」などにも取り組まれ、弥栄地域のアピールもできつつあり、本年設立された「特定地域づくり事業協同組合」などとも連携する中で、弥栄地域の新たな価値を高める拠点として生かすべきと判断した。

（予算規模について）

体験村施設自体の入込みを増やす努力も必要だが、地域の拠点としての事業の進展を期待して管理費は現状維持と評価する。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

今後実施予定の「どぶろくづくり」や体験事業の拡充などによる体験村施設独自の取組の検討に加え、地域の拠点施設として、すでに実施している「交流人口増」の取組や国が検討している「ふるさと住民登録制度」などの施策も積極的に検討されたい。

将来的には持続可能な中山間地域として、保育園留学やコワーキングスペース、ワーケーションなどの取組も検討されたい。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月22日
議員名	大谷 学

事業No.	345		
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 （区分の説明）	廃止	○要改善		現行どおり
	（事業を廃止もしくは凍結）	（事業の内容や手法に改善や見直しが必要）		（事業の内容や手法はおおむね現行どおり）
予算規模 の評価 （区分の説明）	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	（予算はゼロ）	（予算は縮小）	（予算は現状維持）	（予算は拡大）

■評価判定に至った理由

（事業内容について）宿泊数など改善が必要と感じるが、見地での聞き取りを通じて改善されている部分の感じ取れるので、今後の改善努力に期待するため

（予算規模について）改善を期待して現状維持と判断する。

■改善・提案内容

宿泊しなければ体験できないようなプログラムの構築

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 月 日
議員名	沖田真治

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

弥栄地域における目玉施設であるが、宿泊者数が計画を下回ることが課題である。一方で「おてつだいたび」「いわみ留学制度」等により地域アピールも行っており、集客増に加え地域全体の価値向上に資する拠点としての発展が期待される。

(予算規模について) 現状維持

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名			

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
ふるさと体験村は宿泊客数の伸び悩みが課題だが、地域の交流や滞在を支える拠点として重要であり、他事業や団体と連携し弥栄地域の価値向上に寄与している。宿泊客や来場者の増加についてより検討する必要がある。施設利用促進に努めつつ、地域ハブとしての役割を期待する。

(予算規模について) 適当であると思う。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

体験村では「どぶろくづくり」など独自事業の拡充に加え、交流人口増や「ふるさと住民登録制度」などを積極的に検討すべきである。将来的には、保育園留学やコワーキング、ワーケーションなどを通じて持続可能な中山間地域を目指す取組も期待される。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	川上 幾雄		

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

本事業は、維持管理業務という名で「ふるさと体験村」が継続できるようにしているもので、維持している期間中にその施設が計画的に運営されることが求められている。しかし、管理する行政、運営する団体等のヒアリングによると遂行状況は芳しいものではないことが明らかとなった。維持管理であるから同程度の予算規模で施設の維持は行っていただきながら、「ふるさと体験村」の当初計画がなされるよう実行していただきたい。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 月 日
議員名 柳楽 真智子

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
宿泊数は前年度と同程度だが入込客数は増加している。現行どおりで今後の取組
を見ることでいいと判断した。

(予算規模について)
維持管理費なので現状で良いと思う。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

現行どおりとしたが、エアコン整備については未設置と思うので整備が必要と考
える。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 22日
議員名	串崎 利行

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

現状維持で問題ない。現在どぶろくの申請をしている。小学校は、自然体験などの体験学習する為、年一回位来るべきで、教育の場の位置づけとするべき。

(予算規模について)

現状維持で問題ない。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

浜田市の重要施設である。現在若い夫婦が頑張っており、応援するべき。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月22日
議員名 小川 稔宏

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) ふるさと体験村の再生事業について、過去からの経緯が足かせとなり優秀な人材がいるにもかかわらず活かせていない現状があることが、克服すべき課題ではないかと思う。
(予算規模について) 市にとって必要な施設として運用できるための改革に期待し、予算については現状維持とした。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。
当該事業が弥栄地域の維持にとって大切な施設として今後も維持・継続できるため、地元の意識醸成と合意形成が不可欠と思われる。

作成日	令和7年 9月22日
議員名	上野 茂

事業No.	345
事業名	ふるさと体験村維持管理事業
担当課	弥栄支所 産業建設課産業振興課 所管委員会 産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	☒ 要改善	現行どおり	
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	☒ 現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について）以前は釣り堀、学校の体験など行われていた。何度か宿泊したが、今は宿泊客がもう一度行きたいと思う魅力薄れていると思う。

（予算規模について）「交流人口」を増やす努力は必要で、現状維持をしたうえでこれまでの検証したうえで必要であれば拡充を求める必要がある。

■改善・提案内容

7名の同僚と宿泊したが風力発電の音が気になり、寝付けない2人がいた。ヤギや

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 10月22日
議員名	布施 賢司

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○ 現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○ 現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
看板設置の文字の大きさや色合い等の課題はあるが、現行で良い。

(予算規模について)
現状で良い

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月22日

議員名

岡本 正友

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 一指定管理運営は継続されているが、ログハウス宿泊数やイベント集客について伸び悩みが報告されている。設備の維持や看板整備は適切に行われているが「利用者増加に向けた具体的方策」が十分ではない。中山間地域の活性化拠点としての役割を果たすには課題抽出と対策強化が必要。 (予算規模について) 一指定管理費は現状維持が妥当。運営そのものは安定しており、最低限の管理経費は必要。ただし、利用促進や収益改善が見込まれない場合、長期的には負担増の懸念がある。追加投資を行う場合は「効果検証〈入込客・イベント参加数・収益改善など〉」を前提にすべき。
--

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。 1・利用者増加に向けた取組 2・広報。発信力の強化 3・指定管理者の運営改善

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 24日
議員名	芦谷 英夫

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

案内標識の設置などにより、ふるさと体験村の認知度が上がったのか、誘客の増につながったのか、他施設との連携は進んだのかなど、この事業による波及効果を検証する

(予算規模について) 了

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

了

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9 月 日
議員名	永見 利久

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

体験村への入込客を増やす必要もあるが、弥栄地域の観光の拠点としての事業の取組みについては評価する。

(予算規模について)

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

入込客を増やす取組として、新たな体験事業の検討が必要と思う。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 月 日
議員名 佐々木 豊治

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
委員会評価のとおり

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 9 月 1 9 日
議員名 田畑 敬二

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

ふるさと体験村は目的ではなく手段であるという認識のもとで、体験村のあり方そのものを指定監視者が強く認識すべきである

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	西田 清久		

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

特にありません

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月22日

議員名

川神 裕司

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
本事業は再三にわたり見直しがなされ、価値の検証がなされてきた。素晴らしい自然や地域の素朴さ等活用できるコンテンツが施設の価値向上にうまくマッチしていないと感じている。企画、運営の努力は認めるも結果がついていない。支える人材が稀薄ではないか。以前から指摘している「弥栄の体験村」から「浜田の体験村」という位置づけが求められる。

(予算規模について)
予算的には企画力を磨き事業展開を期待するが、管理費に関しては現行で行うことが望まれる。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

これも以前指摘をしたが、デジタル社会と田舎の融合の戦略として、「ワーケーション」や笠松市民の森の地域を活用した「林業人材育成カレッジ」等のあらたな教育の場としても再生できるのではないかな。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月24日
議員名	牛尾 昭

事業No.	当No. 345、実No. 167	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	ふるさと体験村維持管理事業		
担当課	弥栄支所産業建設課	所管委員会	産業建設委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

飲食は、評価する。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

宿泊の検討。